

会 議 録

1 会議名

令和元年度第3回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議

（1）地域活動支援事業の審査について（公開）

（2）その他（公開）

・その他

3 開催日時

令和元年5月30日（木）午後6時00分から午後8時20分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：平井達夫（会長）、小林良一（副会長）、上野きみえ、島田信繁、西田節夫、新井清三、古海誠一、島田正美、古川政繁、増村眞一、徳永妙子、福崎幸一、長藤豊

・事務局：板倉区総合事務所 米持所長、笠松次長、嘉鳥総務・地域振興グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長、宮尾産業グループ長、隠田建設グループ長、石川G長、村山地域振興班長、安原主事（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【笠松次長】

・会議の開会を宣言

【平井達夫会長】

・挨拶

【米持所長】

・挨拶

【平井達夫会長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

4「協議」(1) 地域活動支援事業について、事務局の説明を求める。

【嘉島総務・地域振興G長】

(資料1、資料2により説明)

【平井達夫会長】

審査の説明について、意見・質問等がある委員は挙手を求める。

(意見なし)

これより、地域活動支援事業の審査を行う。

優先して採択すべき事業、その他の事業、採択すべきでない事業について協議する。資料1の3、5、7の事業については審査から1人外れたので過半数は7人、それ以外の事業は過半数が8人となる。採点の結果すべての事業において優先すべき事業を選択した委員の数が過半数を超えており、また共通審査項目の集計後の採点の結果、全事業が10点以上となっている。そのため、すべての事業を優先して採択すべき事業としてよいか。

(異議なし)

審査の進め方について、資料2を使い、得点の多い順から審査を行い、事業の内訳を精査し適正な助成額を決定することとしてよいか。

(異議なし)

それでは審査を始める。

受付番号1番 県道上越飯山線改良促進に向けた光ヶ原高原の活用支援事業について、意見がある委員は挙手を求める。

【古海誠一委員】

申請通りの助成金額でよい。

【西田節夫委員】

信越トレイルと期成同盟会にも事業に加わってもらいたい。

【平井達夫会長】

期成同盟会の現在の会長である三浦栄一さんは光ヶ原夏まつり実行委員会の会長でもある。次年度については現時点では不明である。

【平井達夫会長】

その他、意見等が無いようなので、受付番号1番「県道上越飯山線改良促進に向けた光ヶ原高原の活用支援事業」は提案のとおり採択すべき事業としてよいか。

(異議なし)

次に受付番号2番 「みよしの里美化事業」について、意見がある委員は挙手を求める。

【西田節夫委員】

本来はやすらぎ荘が行うべき事業である。やすらぎ荘は潤っているかもしれないが地元は潤っているのか。来年度も行うのであれば、地元にどのような恩恵があるのかわかるようにしてもらいたい。

【小林良一副会長】

年々芝桜の数が増えており、それを見に来くる客も増えている。芝桜を見に来た方がついでに地すべり資料館にも足を運んでいる。長年続けることによって観光客を増やすことができる。効果はあると思う。

【西田節夫委員】

浦川原区では芝桜を自分たちで増やしている。こちらでは苗を買っている。

【古川政繁委員】

どのくらい潤っているかという考え方は、いろいろあるが、年々芝桜はきれいになっており、植栽には中学生からも手伝ってもらっている。これからもこの事業を続けてもらいたい。

【平井達夫会長】

助成額について、意見がある方は挙手をお願いする。

【西田節夫委員】

見切り材、又は、のぼり旗のポールは不要ではないか。観光客はたくさん来て

おり、そのための周知もしているため、のぼり旗は不要であると思う。どちらか削るべきである。

【徳永妙子委員】

現場調査の時にとってもきれいに咲いていた。きれいに見せるために見切り材は必要である。

【長藤豊委員】

見切り材がないとデザイン案通りに開花させることはできないので、見切り材は必須ではないか。

【上野きみえ委員】

デザインについては、若い方々をターゲットにしており、このデザインで芝桜を植えてもらいたい。このように開花させるには見切り材は必要である。

【福崎幸一委員】

見切り材を使用しないと芝桜同士が混ざってしまう。これからどう咲くのかはわからないが、来年はきれいに咲くのを楽しみにしたい。

【西田節夫委員】

のぼり旗についてはどうなのか。すでにやすらぎ荘の芝桜は皆さんに認知されている。ロコミで増えていくからのぼり旗は必要ないのではないか。

【島田正美委員】

ロコミというよりは、今回は新聞への掲載によるところが大きい。のぼり旗は、祭りでもイベントでもどこに行っても立っている。

【古海誠一委員】

気運を盛り上げるには、のぼり旗のような小道具が必要である。ポールは1年で壊れてくるので補完の意味で申請しているものとする。

【小林良一副会長】

これまで続けてきたことに水を差すのではなく、これからの発展を願い、申請どおりで助成額を決定してもらいたい。

【平井達夫会長】

その他、意見等が無いようなので2番「みよしの里美化事業」は提案のとおり採択すべき事業としてよいか。

(異議なし)

次に受付番号9番「板倉文化掘り起し講演会開催と歴史文化散策マップ作成事業」について、意見がある委員は挙手を求める。

【長藤豊委員】

採択すべきでない意見について、「現在でもかなり知名度があり必要なし。建物等の維持管理に問題がある。」とあるが今回の事業は講演会とマップ作成でありこの指摘には当たらない。また、講演はぜひ聞いてみたい。

【古海誠一委員】

板倉出身の偉人の講演を聞いてみたい。今までにはなかった企画であると思うので提案どおり実施してもらいたい。

【福崎幸一委員】

いたくら文化研究会が板倉区の支援事業を受けたのは今回が初めてであり、来年度以降の活動が楽しみである。

【上野きみえ委員】

ここまで掘り下げていた企画は今までなかったと思う。貴重な企画であるので、このまま採択したい。

【西田節夫委員】

板倉には歴史や文化についての団体がいくつもあるので、話し合いを行い、事業を進めてもらいたい。

【平井達夫会長】

その他、意見が無いようなので、9番「板倉文化掘り起し講演会開催と歴史文化散策マップ作成事業」については提案のとおりと提案のとおり採択すべき事業としてよいか。

(異議なし)

次に受付番号3番「地域の一体感形成事業」について意見がある委員は挙手を求める。小林良一副会長は関係者のため一時退席する。

(小林良一副会長退室)

【西田節夫委員】

まちづくり振興会は来年度にNPO法人化する予定であるが、NPO法人とい

う文字をはんてんに入れなくてもいい。

【嘉島総務・地域振興G長】

提案書の事業の実施方法にあるとおり、はんてんは昨年度と同じデザインで作成するとあり、NPO法人という文字は入らないはずである。

【西田節夫委員】

NPO法人を入れるのか確認し、もしはんてんにNPO法人と入れるのであれば採択は取り消しである。

【徳永妙子委員】

板倉区活性化のためにこのとおりでよい。

【上野きみえ委員】

現在のはんてんを着たことがあるが色あせていた。一新し、板倉をアピールしてもらいたい。

【長藤豊委員】

NPO法人の文字が入らないよう特記事項に付け加えれば問題ないのではないか。

【平井達夫会長】

その他、意見が無いようなので、3番「地域の一体感形成事業」については提案のとおり採択すべき事業としてよいか。

(異議なし)

(小林良一副会長入室)

次に受付番号8番「栗沢桜の里づくり事業」について意見がある委員は挙手を求める。

【島田信繁委員】

桜の花も咲き、道路からよく見える。これから良い景色になるのではないか。

【古海誠一委員】

10年以上たたないと桜の木はよくなる。看板については時期尚早だと思う。

【長藤豊委員】

今回作る看板は駐車場やトイレなどであるため桜の花の開花とは関係なく、必

要ではないか。

【西田節夫委員】

見積書の内容と作成予定の看板の内容が異なっているのではないか。

【古海誠一委員】

看板作製よりも環境整備が必要である。

【長藤豊委員】

「栗沢さくらの里」と書かれた両面看板のみ減額すべきではないか。

【西田節夫委員】

看板については、来年度以降にしてもらいたい。

【平井達夫会長】

看板の見積書と提案書に整合性がないため、看板の金額は削減し、環境整備についてはこのままでよいか。

【福崎幸一委員】

看板は減額し、来年度以降提案していただき、環境整備はこのままやっていたきたい。

【長藤豊委員】

見積書、提案書の資料が整合していないので、再検討して来年度以降に提出してもらいたい。

【平井達夫会長】

8番「栗沢桜の里づくり事業」について事業実施者への意見を環境整備優先、看板は時期尚早とする。助成金額は看板製作費を除いた188千円とし、採択すべき事業としてよいか。

(異議なし)

その他、質問・意見等が無いようなので、8番「栗沢桜の里づくり事業」については以上とする。

次に受付番号6番「塚之宮八幡宮保全・周知事業」について意見がある委員は挙手を求める。

【徳永妙子委員】

見積書に看板の撤去費が入っているが、現在の看板は市が撤去するのではない

か。

【嘉島総務・地域振興G長】

看板は市で撤去するため、減額することになる。

【島田信繁委員】

草刈など周囲の環境整備を行ってほしい。

【西田節夫委員】

採択された場合には、特記事項として周囲の環境整備を怠らないよう入れるべきである。

【平井達夫会長】

看板は市で撤去するため、看板処分費1万円は削ることとしてよいか。

【古海誠一委員】

見積書の写真代は不要ではないか。

【嘉島総務・地域振興G長】

実績報告に必要な写真と思われる。

【小林良一副会長】

これまで写真代を事業費として請求されたことはなかったもので、ここで許可してしまうと慣習となるので減額すべきである。

【平井達夫会長】

看板処分代1万円、写真代4,010円を減額してよいか

(異議なし)

【嘉島総務・地域振興G長】

合計額145,990円、補助金額が145千円、自己負担が990円となる。

【平井達夫会長】

6番「塚之宮八幡宮保全・周知事業」について、助成金額は看板の解体処分代と写真代を除いた145千円とし、採択すべき事業としてよいか。

(異議なし)

その他、質問・意見等が無いようなので、6番「塚之宮八幡宮保全・周知事業」については以上とする。

次に受付番号7番「～恋する高原～星空パーティー板倉区光ヶ原高原にぎわい創出事業」について意見がある委員は挙手を求める。徳永妙子委員は関係者であるため一時退席する。

(徳永妙子委員退室)

【長藤豊委員】

不採択とする理由に参加者は20名以下であるとあるが、参加費を払って参加した人は20名以下であるが、イベントを運営するために動いている人を含めると20名以上となる、結果が見えないが、多くの団体がこの事業に関わっているためこのまま採択してよい。

【小林良一副会長】

若い人が声をあげてチャレンジすることは珍しい。ぜひともやっていただきたい。

【西田節夫委員】

結果が見えない。5時間程度で結果が出るものなのか。また、婚活に誘うと、余計なお世話だと怒る人もいるため、参加者は減少すると思う。

【上野きみえ委員】

結果が出るには時間がかかるもので、結果を急ぐものではない。何年か続けることで結果が出てくる。

【増村眞一委員】

ほかの区と合同で婚活を企画すると効果が出るのではないか。

【平井達夫会長】

その他、意見が無いようなので、7番「～恋する高原～星空パーティー板倉区光ヶ原高原にぎわい創出事業」については提案のとおり採択すべき事業としてよい。

(異議なし)

(徳永妙子委員入室)

次に受付番号5番「地域に残る伝説の紙芝居作成と情報保存事業」について意見がある委員は挙手を求める。島田正美委員は関係者であるため一時退席する。

(島田正美委員退室)

【西田節夫委員】

上江用水について関川水系土地改良区が紙芝居を作成する予定と聞いているので、任せておけばよいのではないかと。地蔵の紙芝居は作ってもらいたい。

【長藤豊委員】

夜泣き地蔵はすでに作ってあるのではないかと。

【古海誠一委員】

夜泣き地蔵はストーリーが地域ごとに違う。DVDはすでにあるが、紙芝居のほうが子どもたちには理解しやすいと思う。しかし、関川水系土地改良区が紙芝居を作るのであれば話が違って来る。

【西田節夫委員】

紙芝居とそのDVDも作る予定と聞いている。紙芝居であると話す人によって変わってくる。土地改良区のものは音声入りでもある。

【小林良一副会長】

事務局で土地改良区の上江用水の紙芝居についてどのように作成するのか、紙芝居の貸し出しは可能なのか、後日確認していただきたい。場合によっては、上江用水の紙芝居については考え直してもらおうが、玉手箱グループとしての提案は一区切りをつけるので、減額せずに採択したい。

【徳永妙子委員】

子どもに伝えるには、DVDよりもわかりやすい絵や語り口のほうがよいと思う。土地改良区は土地改良区で、玉手箱は玉手箱で作成し、板倉区の小学校やふれあい祭り等で上映するなど有効活用できればよいが、土地改良区の紙芝居を借りることができるのならば、上江用水の紙芝居の内容を変更してもらい、減額せずに採択したい。

【平井達夫会長】

土地改良区で作る紙芝居と重なるのであれば違うものを作ってもらおう。また、土地改良区が作る紙芝居は子どもが作るのか。玉手箱グループは子どもたちに協力して作っているが土地改良区も紙芝居を作るのであれば、必要か不要かについて議論してもらいたい。

【古海誠一委員】

土地改良区と玉手箱ではストーリーが異なってくるのではないかと。土地改良区の内容とかぶらないように作成すればよいのではないかと。

【小林良一副会長】

土地改良区にいちいち借りに行かなくてもよいように手元に作っておきたい。土地改良区と玉手箱では作り手の目線が違う。

【長藤豊委員】

スケジュールを見る限り、物語の検討は済んでいると思う。作り手が違うのはいいことではないかと。

【平井達夫会長】

その他、意見が無いようなので、5番「地域に残る伝説の紙芝居作成と情報保存事業」について提案のとおり採択すべき事業としてよいかと。

(異議なし)

(島田正美委員入室)

次に受付番号4番「箕冠城址公園観光・美化事業」について意見がある委員は挙手を求める。

【徳永妙子委員】

計画の植栽位置では人の目に触れづらいので植栽位置を変更してもらいたい。

【新井清三委員】

植栽位置まで足を運んで見に来てくれるか疑問に思う。また、山ツツジの植栽予定位置付近にはヤマユリが群生しているので、お互いに干渉しないように植栽してもらいたい。

【古海誠一委員】

史跡の価値を損なわないように植栽してもらいたい。

【平井達夫会長】

その他、意見が無いようなので、4番「箕冠城址公園観光・美化事業」について、事業実施者へ山ツツジの植栽位置を再検討してもらい、助成金額は申請額と変更なしで採択すべき事業としてよいかと。

(異議なし)

審査の結果、助成金額は受付番号6番「塚之宮八幡宮保全・周知事業」は14

5千円、受付番号8番「栗沢桜の里づくり事業」188千円としたことから、補助額の合計は376万7千円となった。

ただいま審査した結果を、令和元年度板倉区地域活動緯線事業の審査結果として市に報告するにあたり、作成と報告については私と小林副会長に一任していただいてよいか。

(異議なし)

それではそのように進める。

合計補助額は376万7千円となり、板倉区への配分額640万円との差額が263万3千円となった。板倉区の採択方針では「1次募集事業の審査終了後、配分額に5万円以上の残額がある場合は1回のみ追加募集を行う」としている。残額があることから追加募集を行うこととしてよいか。

(異議なし)

それでは配分残額263万3千円については、追加募集を行うこととする。追加募集の期間や審査日程について、事務局の説明を求める。

【嘉島総務・地域振興G長】

(当日配布資料により説明)

【平井達夫会長】

今後の日程について、事務局から説明があったが、まず、追加募集の期間について、意見のある方は挙手を求める。

(意見なし)

それでは、募集期間は6月14日(金)から7月5日(金)としてよいか。

(異議なし)

次に第4回地域協議会の日程について協議する。6月19日(水)に開催することよいか。

(異議なし)

では、第4回地域協議会を6月19日(水)の午後6時から、板倉区コミュニティプラザで開催することとする。

次に、現地確認及びヒアリングの日程を決める。7月18日(木)に現地確認及びヒアリングを行うこととしてよいか。

(異議なし)

では、7月18日(木)の午後3時から現地確認の勉強会を行い、午後6時から第5回地域協議会を板倉コミュニティプラザで開催することとする。

最後に、7月24日(水)に提案事業の審査を行うこととしてよいか。

(異議なし)

では、7月24日(水)の午後6時から提案事業の審査を行う第6回地域協議会を板倉コミュニティプラザで開催することとする。委員は、採点表を7月23日(火)までに事務局へ提出をお願いする。

6月29日(土)には、4区合同の研修会もあり、6月から7月は日程が立て込むが、ご協力願いたい。

次に、(2)「その他」に移る。事務局で協議事項はないか、

(意見なし)

ほかに皆さんの方で協議事項はないか。

(意見なし)

なければ本日の協議事項は以上とする。

次に、5その他に移る。事務局から何かあるか

(意見なし)

皆さんの方で何かあるか。

【島田正美委員】

今年度の地域協議会だより編集委員長を務める。6月15日号の内容は本日の地域活動支援事業の結果について掲載する予定としている。

【平井達夫会長】

5その他は以上とする。

会議録の確認は福崎委員に依頼する。

【小林良一副会長】

- ・挨拶

【笠松次長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141 (内線 123)

E-mail:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。